

第一表（表）

277号 道路台帳

整理番号		図面対照番号																				
道路の種類	一般国道		路線名	277号		道路管理者	北海道開発局長															
路線の指定（認定）年月日	昭和57年4月1日					指定（認定）の該当条項	道路法第5条第1項第2号															
起点	檜山郡江差町字柳崎町186番					主要な経過地																
終点	二世郡八雲町立岩454番2																					
路線の延長	60,947メートル					供用開始の区間及び年月日																
路線の延長の内訳	供用されている区間の延長	実延長	60,947メートル			当該路線の官報告示のとおり																
		重複延長	28,405メートル																			
		供用されていない区間の延長	0メートル																			
	道路	トンネル			橋			渡船施設														
実延長の内訳	30,742	2	968	種類	個数	延長	渡船場		渡船													
				永久橋	19	832	0	0	0	0												
				木橋	0	0																
				混合橋	0	0	0	0	0	0												
計	19	832	0	0	0	0																
車道の幅員路面の種類		19.5メートル以上	13.0メートル以上 19.5メートル未満		5.5メートル以上 13.0メートル未満		5.5メートル未満		計													
改良済		0	0		32,542		0		32,542													
車道の幅員路面の種類		5.5メートル以上	3.5メートル以上 5.5メートル未満		3.5メートル未満		自動車交通不能区間の延長		計													
未改良		0	0		0		0		0													
道路の敷地の面積	国有地	地方公共団体有地	民有地	計		鉄道又は新設軌道との交差	交差の方式		個数													
	平方	平方	平方	平方	286,363		立体交差	跨道	0													
								跨線	1													
						平面交差	0															
最小車道幅員		箇所		最小曲線半径		箇所		最急縦断勾配		箇所												
5.5								パーセント														
有料道路	区間			延長			管理者		根拠条項		料金徴収期間											
	延長の内訳	道路		トンネル		橋			渡船施設													
		9.0メートル以上	5.5メートル以上 9.0メートル未満		4.0メートル以上 5.5メートル未満			4.0メートル未満														
道路	駐位置	規模		構造	管理者	根拠条項	料金徴収開始の日															
		面積	駐車台数																			
駐車場		平方		台																		

註 重複延長の欄には、法第11条第1項又は第2項の規定により他の道路に関する規定が適用される区間の延長を記載し、実延長の欄には、その他の区間の延長を記載すること。

(裏)

道路と効用を兼ねる主要な他の工作物の概要

道路一体建物の概要

軌道その他主要な占用物件の概要

その他特記すべき事項

調製（改訂）の年月日

H26. 3. 14（H25. 4. 1時点）

第二表

## 実 延 長 調 査

区間	幅 員 (m)				延 長 (m)					累計延長 (m)	路面の 種 類	備 考	
	車 道	歩 道	分離帯	路 肩	道 路	トンネル	橋	渡船施設	計				
										28,380	28,380	As	重用
1	5.50	L	—	—	1.00	2,125		3		2,128	30,508	As	
		R	—		1.00								
2	6.50	L	—	—	1.50	300				300	30,808	As	
		R	—		1.50								
3	5.50	L	—	—	1.00	83		3		86	30,894	As	
		R	—		1.00								
4	6.50	L	—	—	1.50	360				360	31,254	As	
		R	—		1.50								
5	5.50	L	—	—	1.00	281		7		288	31,542	As	
		R	—		1.00								
6	6.00	L	—	—	1.25	269				269	31,811	As	
		R	—		1.25								
7	6.50	L	—	—	1.50	270				270	32,081	As	
		R	—		1.50								
8	5.50	L	—	—	1.00	106		24		130	32,211	As	
		R	—		1.00								
9	6.50	L	—	—	1.50	1,621		170		1,791	34,002	As	
		R	—		1.50								
10	5.50	L	—	—	1.00	6,930	390	264		7,584	41,586	As	
		R	—		1.00								
11	5.50	L	—	—	0.75	1,302				1,302	42,888	As	
		R	—		0.75								
12	5.50	L	—	—	0.50	60				60	42,948	As	
		R	—		0.50								
13	5.50	L	—	—	0.75	290				290	43,238	As	
		R	—		0.75								

註 備考欄には、自動車交通不能その他道路の管理上必要な事項を記載すること。

第二表

## 実 延 長 調 査

区 間	幅 員 (m)				延 長 (m)					累計延長 (m)	路面の 種 類	備 考	
	車 道	歩 道	分離帯	路 肩	道 路	トンネル	橋	渡船施設	計				
14	5.50	L	—	—	1.00	194		20		214	43,452	As	
		R	—		1.00								
15	6.50	L	—	—	1.50	1,582	578	121		2,281	45,733	As	
		R	—		1.50								
16	5.50	L	—	—	1.00	1,801		7		1,808	47,541	As	
		R	—		1.00								
17	6.50	L	—	—	1.50	190				190	47,731	As	
		R	—		1.50								
18	5.50	L	—	—	1.00	1,136		4		1,140	48,871	As	
		R	—		1.00								
19	6.00	L	—	—	1.25	470				470	49,341	As	
		R	—		1.25								
20	5.50	L	—	—	1.00	4,468				4,468	53,339	As	
		R	—		1.00								
21	5.50	L	—	—	1.00	1,840		48		1,888	55,227	As	
		R	—		1.00								
22	6.50	L	—	—	1.50	3,793		87		3,880	59,107	As	
		R	2.50		1.50								
23	6.50	L	4.50	—	2.25	1,221		74		1,295	60,402	As	
		R	4.50		2.25								
										25	60,427		重用
整						50				50	60,477		現況図延長との調整
										28,405			
合計						30,742	968	832	0	32,542			

註 備考欄には、自動車交通不能その他道路の管理上必要な事項を記載すること。

第三表

トンネル調査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延 長 (m)	構 造										建 設 年 次	備 考
				幅 員 (m)			有 効 高 (m)	こ う 拱	側 壁	排 水 施 設	照 設	明 備			
				車 道	歩 道	路 肩									
35, 25	雲石トンネル	八雲町熊大石谷	390.0	6.0	右 一 左 一	0.50×2	4.5	Co	Co	—	ナリウム (77)	S41.			
	ピリカベツトンネル	八雲町鉛川	578.0	6.5	右 - 左 -	0.50×2	4.7	Co	Co	—	ナリウム (173)	H15.8	管査路 0.75×2		
合 計	2件		968.0												

註 備考の欄には、トンネルの保全の状況その他トンネルの管理上必要な事項を記載すること。

第四表

橋 調 査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延長 (m)	幅 員 (m)			面積	橋 種 及 び 型 式		建設 年次	耐荷 荷重	現況	備 考	
				車道	歩道	路 肩								
35, 34	鮎溜橋	八雲町熊鮎石川	3.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	函渠工	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 32	清水橋	八雲町熊鮎石川	3.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版橋	S47.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 32	岩渕橋	八雲町熊鮎石川	7.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	管渠工	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 31	冷水橋	八雲町熊鮎石川	24.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	プレテンPC床版桁	H11.	25	安全	
					R	—			下部	逆T式				
35, 29	如月橋	八雲町熊大石谷	170.0	6.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	5径間連続鋼鉄桁 4@33.8+33.95	H 8.12	25	安全	
					R	—			下部	A～逆T式 P～柱式 深礎杭				
35, 29	弥生橋	八雲町熊大石谷	190.0	6.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	4径間連続鋼鉄桁 4@43.5+15.0	H 9.12	25	安全	
					R	—			下部	A～逆T式 P～柱式 深礎杭				
35, 29	文月橋	八雲町熊大石谷	6.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	管渠工	S49.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 28	雲石橋	八雲町熊大石谷	68.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	H桁	S41.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 20	清流橋	八雲町鉛川	20.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S35.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 18	ピリカベツ橋	八雲町鉛川	49.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	I桁 (非合成)	H14.2	25	安全	
					R	—			下部	RC逆T式 (直接基礎) 壁式橋脚 (RC)				
35, 17	日暮橋	八雲町鉛川	72.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	I桁 (非合成)	H13.2	25	安全	
					R	—			下部	RC逆T式 (直接基礎) 壁式橋脚 (RC)				
35, 16	遭遇橋	八雲町鉛川	7.0	5.50	L	—	1.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S47.	20	安全	
					R	—			下部	—				

註 1 耐荷荷重の欄には、一車線当りの通行することができる最大車両の総重量を記載すること。

2 現況の欄には、自動車交通不能又は荷重制限に関する事項を記載すること。

3 備考の欄には、橋の保全の状況その他橋の管理上必要な事項を記載すること。

第四表

橋 調 査

図面 対照 番号	名 称	箇 所	延長 (m)	幅 員 (m)			面積	橋 種 及 び 型 式		建設 年次	耐荷 荷重	現況	備 考	
				車道	歩道	路 肩		上 部	下 部					
35, 14	滝見橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版桁	S45.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 13	西保橋	八雲町鉛川	40.0	5.50	L	—	0.25 × 2	—	上部	RC床版桁	S37.	20	安全	
					R	—			下部	Co重力式				
35, 12	狩場橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.00 × 2	—	上部	RC床版橋	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 11	大貫橋	八雲町鉛川	4.0	5.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	RC床版橋	S46.	20	安全	
					R	—			下部	—				
35, 6	清流建岩橋	八雲町立岩	74.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	2径間連続鋼鉄桁 L=2@36.5	H 3.11	20	安全	
					R	2.50			下部	RC逆T式				
36, 5	宮前橋	八雲町立岩	13.0	6.50	L	—	1.50 × 2	—	上部	プレテンPCスラブ桁	H 6.3	25	安全	
					R	2.50			下部	RC逆T式				
合 計	18件		758.0											

註 1 耐荷荷重の欄には、一車線当りの通行することができる最大車両の総重量を記載すること。  
 2 現況の欄には、自動車交通不能又は荷重制限に関する事項を記載すること。  
 3 備考の欄には、橋の保全の状況その他橋の管理上必要な事項を記載すること。

第五表

鉄道等との交差調書

図面对照番号	箇所	鉄道又は新設軌道の名称	交差の方式	延長(m)	幅員(m)	有効高又は交差角度	備考
36,1	立岩こ線橋	J R 函館本線	立体交差跨線橋	74.0	6.5	—	
合計		1件		74.0			

註 1 有効高又は交差角度の欄には、立体交差にあっては有効高、平面交差にあっては交差角度を記載すること。  
 2 備考の欄には、踏切道における保安設備の状況その他鉄道等との交差に関し道路の管理上必要な事項を記載すること。